

井上義朗著『読む ミクロ経済学』におきまして、下記の誤りがございました。

お詫びのうえ、訂正させていただきます。

頁	場所	誤	正	刷
266	30.	$(cx + b)^2$	$(cx + d)^2$	第1刷

頁	場所	誤	正	刷
30	下から 1～2 行 目	線形（直線）の形で示されるが	直線で示されることが多いが	第1刷・第2刷
60	7 行目	のような合成関数の場合	のような場合	第1刷・第2刷
60	10 行目	（これを合成関数という）	削除する	第1刷・第2刷
60 頁 以降			$y = f(x)g(x)$ のようなタイプの関数の微分を、「合成関数の微分」という表現から、「積の関数の微分」という表現に訂正*	第1刷・第2刷
145	(8-3) 式	$+ \Delta P \cdot \Delta Q$	$- \Delta P \cdot \Delta Q$	第1刷・第2刷
157	脚注 7 下から 3 行目	企業の様式	企業の株式	第1刷・第2刷
166	15 行目	限界費用	限界収入	第1刷・第2刷
168	4 行目	線形（直線）	直線	第1刷・第2刷
168	下から 5 行目	線形	直線	第1刷・第2刷
169	図 9-3 見出し	線形	直線	第1刷・第2刷
192	図 10-4	MRS_0	MRS_D	第1刷・第2刷

*（補足）なお，4. $y = (ax + b)^n$ のようなタイプの関数（鎖法則が適用されるタイプ）を，合成関数という。ただし，合成関数には，これ以外にも，いろいろな形のものがある。

頁	場所	誤	正	刷
7	3 行目	1874 年から 1876 年	1874 年から 1877 年	第1刷～第4刷